




学校名 [北六番小丁学校] [小] 学校 [平成28] 年版 第2学年 单元名 [自分地図をつくろう! (もっとなかよしまちたんけん)] P 3 2~3 3 教科・領域名 [生活科] [1/6時間]	氏名 [國井 美紅] No.2
--	--------------------------

主な学習活動 (実際に行った活動)	指導の実際
<p>【単元の目標】</p> <p>1 通学路で地震発生時(津波・風水害発生時)に危険なところ・安全なところを見つけ、自分地図に表現する。</p> <p>2 自分地図にまとめたことを通学コース毎や全体で発表し合い、地域への理解を深める。</p> <p>【本時のねらい】</p> <p>通学路で地震発生時(津波・風水害発生時)に危険なところ・身の守り方について実際に通学路を歩きながら気が付いたことや考えたことを話し合い、理解を深める。</p> <p>1 通学路で見つけた地震が発生したときに危険になる場所や物を発表し合う。</p> <div data-bbox="193 1088 812 1238" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>通学路を歩いているときに地震が起きたら、危険になる場所や物を発表しましょう。(同様に、津波や大雨・台風について発問する)</p> </div> <p>(児童の主な反応)</p> <p>瓦屋根 ブロック塀 自動販売機 電柱 木看板 川 橋 電灯 お店の窓ガラス 踏切 等</p> <p>2 被災時の身の守り方や安全な場所を考える。</p> <div data-bbox="193 1469 804 1619" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>実際に通学を歩いてみて、通学路を歩いているときに、地震が起きたらどのように身を守ったらよいと思いましたか。</p> </div> <p>落ちてきそうな物・動いてきそうな物・倒れてきそうな物から離れて、頭を守る。車道にははみ出さない。</p> <p>3 次時への意欲付けをする</p> <p>通学路を歩いていて、地震や大雨・台風などが発生した時に安全なところや助けてもらえるところはどこでしょう。実際に通学路を歩きながら、考えてみましょう。</p>	<p>※この学習は、「家のまわり 学校のまわり」(学級活動)の学習で危険なこと・身の守り方を判断する観点を理解し、地震発生時に通学路の危険な場所・安全な場所・身の守り方を自分地図にまとめて、話し合うことに生かす学習である。前時にあたる学級活動の最後に、自分の通学路を観察してくるよう呼びかけた。</p> <p>○児童の発表をもとに、副読本の写真を拡大したカードも活用して、意見をまとめていく。</p> <div data-bbox="863 1095 1054 1375" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>しどう 自動はんぱいき</p> </div> <p>○実際のこの地域の被災時の様子について補足して写真資料を提示しながら話し、気づきを促す。(例 仙山線の電車が脱線した。近年の大雨の時に梅田川が増水した。)</p> <p>○避難所や子ども110番の家などの写真を見せて基本的な情報を確認する。</p> <div data-bbox="882 1800 1131 2036" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <p>ひなんじよのかんばん</p> </div> <div data-bbox="1150 1800 1299 2080" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div>